



会場の外で繰り広げられるパフォーマンスに、子ども生き生き



人形とのふれあい。「くりちゃん、この人形が動いてたの?」



大人も子どもも笑顔、笑顔。人形劇会場は笑顔の宝庫



今年も頑張ったよ。地元人形劇グループ「星の子」の舞台あいさつ



メルヘンの世界へいざなってくれる「みのむし」の人形劇



美しい舞台が魅せた人形劇団「クラルテ」



汗だくで人形を操る「江戸糸あやつり人形」の人形芝居

# 笑顔はじけて

## 人形劇の祭典 **喜之助** フェスティバル

8月20・21日の2日間、邑久町公民館を主会場に、人形劇の祭典「喜之助フェスティバル」が開催され、プロ8劇団、アマチュア7劇団が上演。延べ8,755人が人形劇を堪能しました。元気な保育園児たちのパレードや笑顔あふれる人形劇に、大人も子どもも顔をほころばせ、楽しいひとときを過ごしていました。大勢の皆さんがボランティア参加。商工会・農協・公民館クラブ・郵便局・各種団体の皆さんが農産物や手づくり食品などを出店した「ふるさと市」も立ち並び、フェスを盛り上げました。写真でフェスを振り返ります。



「本当に生きているみたい」。人形師の手で命を吹き込まれた人形を、思わずのぞき込む子どもたち

喜之助人形の前で足を止め



3 2005.10



あっ、お獅子が…



人形と一緒にパレード